

加賀市医療提供体制調査検討委員会（第9回） 会議録

日 時：平成23年11月24日 午後7時00分開会

出席委員：稲坂副委員長、大村委員、小橋委員、小林委員、嶋崎委員、山岸委員長

(50音順)

欠席委員：太田委員、川渕委員

<会議の概要>

○議事

議題1 基本構想原案に対する意見募集の結果について

- 事務局説明 **資料1** 意見募集の結果について
資料2 女性アドバイザリー部会の意見について
資料3 基本構想（案）の変更点について

質疑応答

山岸委員長 大変貴重な20名の市民の皆様方からのパブリックコメント、女性のアドバイザリー部会らしい助言、それから以上を踏まえての変更点をご説明いただきました。一連の内容については、事前に各委員に送付されて、既にご確認いただいておりますが、ただいまの説明についてご意見やご質問はございませんか。

大村委員 基本構想の43ページですけれども、二次救急に対して非常に良い表現になっていると思います。高度な三次救急を担う医療機関に患者を送る際には「適切な初期対応を行った上で」とありますし、それからパブリックコメントへの返答でも300床という病床数にも急性期医療に特化した高機能病院とすれば住民に迎えることができる。まさにこの通りですので、加賀市の医療需要に応じた300床であっても高機能の病院を目指すということにさせていただいて、理念というものを示されて非常によろしいと思います。

山岸委員長 他にございませんか。

稲坂副委員長 いろいろな市民の方々の意見がありましたが、財政面の心配が強いです。病院建設に使える起債として再編債や合併特例債、そのほかに地域医療再生基金など出ているのですが、加賀市が具体的にどれくらい負担しなければならないのか。また、国からの補助で賄える金額など、まだはっきり言えないでしょうか。市民の皆様にも周知する必要があると思いますが、分かりやすく幾らくらいか教えてください。

山岸委員長 事務局の方からお願いします。

事務局 それについては、57ページのところに一応出ております。この表の中に自己資金8,000万円、合併特例債が合計で24億1,600万円、再編債が3億7,200万

円、病院事業債が68億7,800万円となっております。この数字でよろしいでしょうか。

稲坂副委員長 加賀市と病院が償還していかなければならない部分はおよそ幾らぐらいでしょうか。

事務局 くわしい数字が手元にありませんが、だいたい金利も含めて国が3分の1、市が3分の1、病院が3分の1と大雑把な割合ですが、それぐらいの金額になります。

山岸委員長 よろしいでしょうか。今の部分については市民の方も関心が高いと思いますので、後ほど市民にもご説明をお願いできればと思います。

稲坂副委員長 もう一点よろしいでしょうか。近々、富山県や石川県の病院でいくつか改築するところがあるそうですが、氷見市民病院とか南砺中央病院、能登総合病院、恵寿総合病院が改築する予定があるようですが、それらと比べて、加賀市の病院の建設単価はどれほどなのでしょう。

事務局 先日、医療体制特別委員会という議会の委員会ですが、3か所に分かれて視察をして来たのですが、その視察の中で、新しい病院をこれから作る、既に作ったという建物の金額を見ると、加賀市の新しい病院の建設費用というのは決して高いものではないということを私たちは確認できました。それから氷見市民病院は確かに安いですが、ただ病院の規模によって若干、金額が変わります。例えば金沢大学などのような病院であれば相当、高額な医療機器を入れ、それなりの高度の医療をしますのです、建物は相当高額になると思います。例えば病院の内容、療養病床が多い病院であれば、単価も安くなるというところですので、一概に比較は出来ないのではないかなと思います。

山岸委員長 よろしいでしょうか。それでは基本構想の案につきましては、この案を持ちまして本委員会の最終案としたいと思いますが、いかがでしょうか。

異論がなければそのようにさせていただきます。

これで本日の議事は一応終了いたしました。この後、委員会として建議することになっているかと思いますが、どのような手続きになりますか。

事務局 事務局で建議書の案を作成しましたので、これでよろしければ委員長のサインをいただきたいと思います。

山岸委員長 内容につきまして検討結果は基本構想に記載されていますからこれでよろしいですね。

ご意見ございませんので、それではサインいたします。

(委員長が建議書に署名)

後ほど建議したいと思います。事務局から連絡事項はありますか。

事務局 今回の会議録は完成次第送付させていただきますので、ご確認宜しくお願いいたします。

このあと引き続きまして、ただいまご確認いただきました基本構想案を委員長の方から、市長の方にご提出していただきたいと思っております。準備をいたしますので、会議が終わりましたもそのまましばらくお待ちいただきますようお願い

いたします。

山岸委員長 それでは加賀市医療提供体制調査検討委員会は一旦閉会いたします。進行にご協力いただきまして誠に有難うございました。

○閉会

午後7時25分閉会

○建議

事務局 それでは引き続きまして委員長から市長の方に基本構想案の建議を行います。市長、前の方に移動お願いいたします。また写真撮影につきましてもどうぞ前の方にお進みいただきますようお願いいたします。

山岸委員長 建議書をお渡ししたいと思います。当委員会においては、救急医療への対応をはじめ、医師・看護師不足、市立病院施設の老朽化など、加賀市の医療提供体制を取り巻く課題の解決策について、今年2月より調査検討を重ねてきました。その結果を、別添「加賀市医療提供体制基本構想(案)」のとおりとりまとめましたので、加賀市医療提供体制調査検討委員会設置要綱第2条に基づき建議します。繰り返しになりますが、わずか10ヶ月の間に持ち回りを含めて9回の委員会で、貴重な市民の皆様のパブリックコメントを受けましてご要望を最大限盛り込んだ構想案が出来たという風に調査委員会でも思っております。どうかこれを基に市民のための市立病院の建設実現に向けて、市としての力を発揮していただきますよう期待しております。

(委員長から市長へ基本構想案を手渡す)

寺前市長 ありがとうございます。

(一同、拍手)

事務局 それでは最後になりましたが、市長の方から委員の方々に御礼を申し上げます。

寺前市長 長いようで短い、私からすればいささか長い期間でしたけれども、先生方には本当に短い時間だったと思いますが、建議書を出していただき心より感謝申し上げます。これは私どもにとっては第一歩でございます。明日議会が開かれますが、議会でのこの専門家の方から調査をいただいた当委員会の報告書を基に報告させていただきます。今度は議会での議論を行う訳ですが、また議会での議論を通じて、市民に理解を求め、納得を求め、協力を求めたいと考えております。それから加賀市が合併をいたしまして6年経ちました。積み残された問題が両病院の問題でございまして、合併に際しましても大変な尽力と時間等をかけたと思いますが、再度小さなミニ合併を両病院でしていくということで、理念とかという問題を別にして、やはり現実の人間が働いていく場の合併ですから、両病院の責任者として私は働いている方の意向を十分に汲み上げ、最大限に円満に合併がなされるように、またそちらの面にも力を尽くして参りたいと考えております。その節にはまた、本日ご参加いただいている諸先生方にも大

大変お世話になろうかと思えます。最後に医師の確保というのが、最大の使命でございますので今回の委員会報告、金沢大学の先生をはじめ大変評価をいただいているのではないかと考えております。これを基に医師の協力体制を切実に訴えていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

事務局

これを持ちまして本日の日程は全て終了しました。お気をつけてお帰りください。

○終了

午後7時31分終了